

# ASA 8.x/ASDM 6.x : ASDM を使用した既存のサイト間 VPN での新しい VPN のピア情報の追加

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[ASDM の設定](#)

[新しい接続プロファイルの作成](#)

[既存の VPN 設定の編集](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[IKE Initiator unable to find policy: Intf test\\_ext, Src: 172.16.1.103, Dst: 10.1.4.251](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Adaptive Security Device Manager ( ASDM ) を使用して新しい VPN ピアを既存のサイト間 VPN 設定に追加する場合に行う設定変更について説明します。これは次のようなシナリオで必要になります。

- インターネット サービス プロバイダー ( ISP ) が変更され、新しい一連のパブリック IP 範囲が使用される。
- サイトでのネットワークの完全な設計し直し。
- サイトの VPN ゲートウェイとして使用するデバイスを、パブリック IP アドレスが異なる新しいデバイスに移行する。

このドキュメントでは、サイト間 VPN がすでに正しく設定され、正常に機能していることを前提として、L2L VPN 設定で VPN ピア情報を変更するために実行すべき手順を示します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- [ASA サイト間 VPN 設定の例](#)

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- ソフトウェア バージョン 8.2 以降がインストールされた Cisco Adaptive Security Appliance 5500 シリーズ
- ソフトウェア バージョン 6.3 以降がインストールされた Cisco Adaptive Security Device Manager

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 背景説明

サイト間 VPN が HQASA と BQASA 間で正常に機能しています。BQASA のネットワークが完全に再設計され、IP スキーマが ISP レベルで変更されたが、すべての内部サブネットワークの詳細は変更されていないものとします。

この設定例では、次の IP アドレスが使用されます。

- 既存の BQASA 外部 IP アドレス - 200.200.200.200
- 新しい BQASA 外部 IP アドレス - 209.165.201.2

注: ここでは、ピア情報だけを変更します。内部サブネットに他の変更は行わないため、暗号アクセスリストは変わりません。

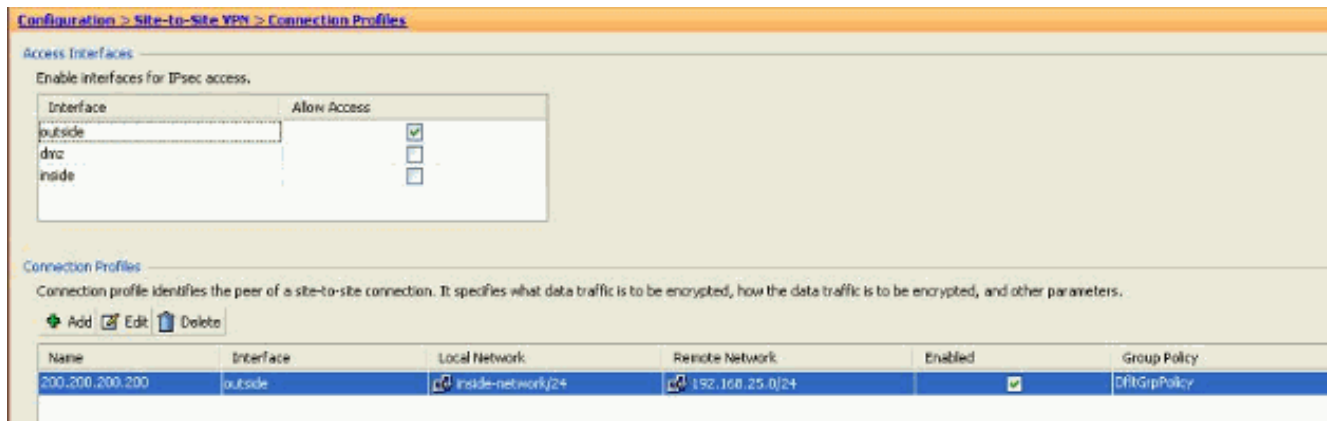
## ASDM の設定

この項では、ASDM を使用して HQASA 上の VPN ピア情報を変更する方法について説明します。

### 新しい接続プロファイルの作成

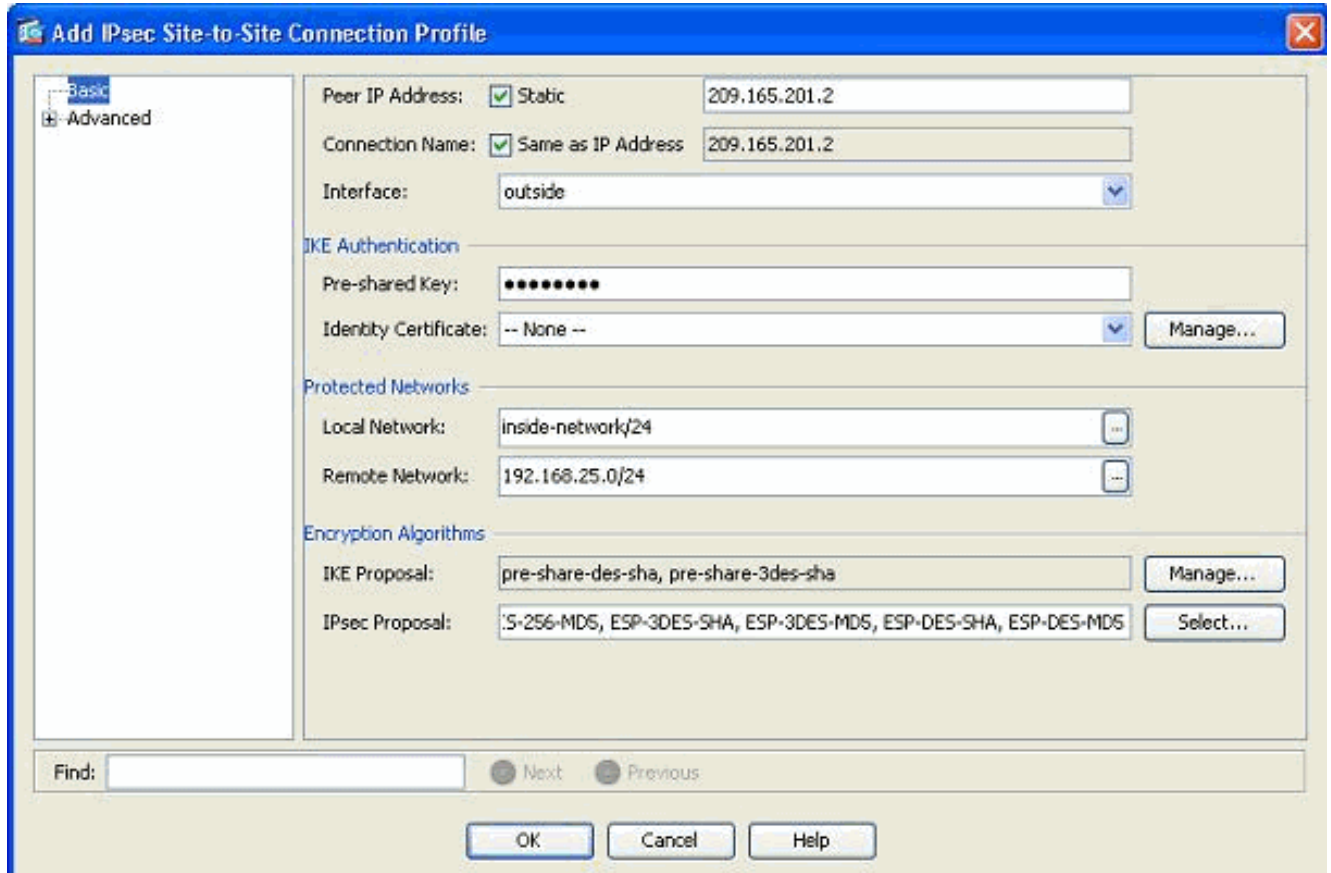
既存の VPN 設定に影響を与えず、新しい VPN ピア関連情報を使用して新しい接続プロファイルを作成できるため、この方法の方が簡単である場合があります。

1. [Configuration] > [Site-to-Site VPN] > [Connection Profiles] に移動して、[Connection Profiles] 領域で [Add] をクリックします。



[Add IPsec Site-to-Site Connection Profile] ウィンドウが表示されます。

- [Basic] タブで、[Peer IP Address]、[Pre-shared Key]、および [Protected Networks] の詳細を入力します。ピア情報を除いて、既存の VPN と同じパラメータを使用します。[OK] をクリックします。



- [Advanced] メニューで、[Crypto Map Entry] をクリックします。[Priority] タブを参照します。このプライオリティは、対応する CLI 設定のシーケンス番号と同じです。既存の暗号マップ エントリより小さい番号が割り当てられている場合、この新しいプロファイルが最初に実行されます。プライオリティ番号が大きいほど、値は小さくなります。これは、特定の暗号マップが実行されるシーケンスの順序を変更するために使用されます。[OK] をクリックして、新しい接続プロファイルの作成を完了します。

**Add IPsec Site-to-Site Connection Profile**

Basic

Advanced

Crypto Map Entry

Tunnel group

Priority: 20

Perfect Forward Secrecy:  Disable  Enable

Diffie-Hellman Group: [dropdown]

NAT-T:  Enable

Reverse Route Injection:  Enable

Security Association Lifetime

Time: 8 : 0 : 0 hh:mm:ss

Traffic Volume: 4608000 KBytes

Static Crypto Map Entry Parameters

Connection Type: bidirectional [dropdown]

CA Certificate: -- None -- [dropdown]

Send CA Certificate Chain

IKE Negotiation Mode:  Main  Aggressive

Diffie-Hellman Group: [dropdown]

Find: [input] [Next] [Previous]

OK Cancel Help

これにより、関連する暗号マップとともに新しいトンネルグループが自動的に作成されます。この新しい接続プロファイルを使用する前に、新しい IP アドレスで BQASA に到達できることを確認してください。

## 既存の VPN 設定の編集

新しいピアを追加するもう 1 つの方法は、既存の設定を変更することです。既存の接続プロファイルは、特定のピアにバインドされているため、新しいピア情報に合わせて編集できません。既存の設定を編集するには、次の手順を実行する必要があります。

1. 新しいトンネルグループの作成
2. 既存の暗号マップの編集

## 新しいトンネルグループの作成

[Configuration] > [Site-to-Site VPN] > [Advanced] > [Tunnel groups] に移動して、[Add] をクリックし、新しい VPN ピア情報を含む新しいトンネルグループを作成します。[Name] フィールドと [Pre-Shared key] フィールドを指定してから、[OK] をクリックします。

注: 事前共有キーが VPN の反対側と一致することを確認します。

**Add IPsec Site-to-site Tunnel Group**

Name: 209.165.201.2

**IKE Authentication**

Pre-shared Key: ●●●●●●●●

Identity Certificate: -- None -- Manage...

Send Certificate Chain:  Enable

IKE Peer ID Validation: Required

**IKE Keepalive**

Disable keepalives

Monitor keepalives

Confidence Interval: seconds

Retry Interval: seconds

Headend will never initiate keepalive monitoring

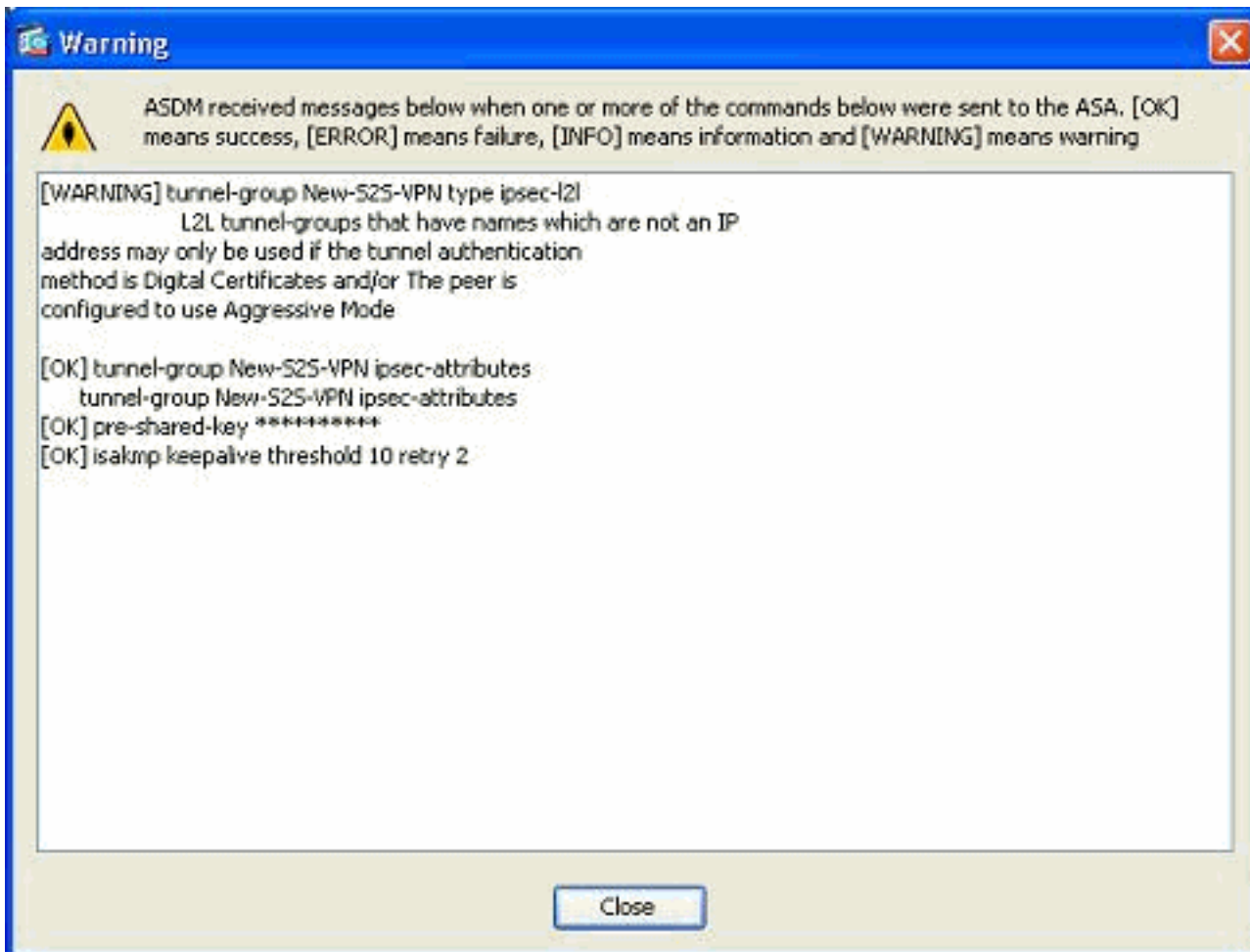
**Default Group Policy**

Group Policy: DfltGrpPolicy Manage...

IPsec Protocol:  Enabled

OK Cancel Help

注: 認証モードが事前共有キーの場合は、[Name] フィールドにリモートピアの IP アドレスだけを入力する必要があります。名前が使用できるのは、認証方式が証明書経由の場合だけです。[Name] フィールドに名前を追加して、認証方式が事前共有の場合は、次のエラーが表示されます。

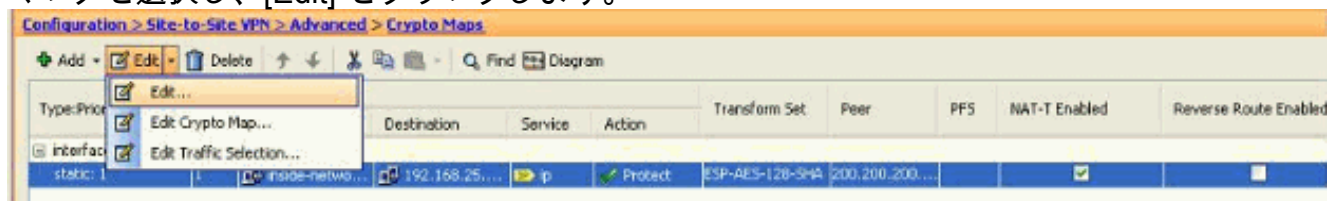


## 既存の暗号マップの編集

新しいピア情報を関連付けるために既存の暗号マップを編集することができます。

次の手順を実行します。

1. [Configuration] > [Site-to-Site VPN] > [Advanced] > [Crypto Maps] に移動して、必要な暗号マップを選択し、[Edit] をクリックします。



[Edit IPsec Rule] ウィンドウが表示されます。

2. [Tunnel Policy (Basic)] タブの [Peer Settings] 領域にある [IP Address of Peer to be added] フィールドに新しいピアを指定します。次に、[Add] をクリックします。



**Edit IPsec Rule**

Tunnel Policy (Crypto Map) - Basic | Tunnel Policy (Crypto Map) - Advanced | Traffic Selection

Interface: outside      Policy Type: static      Priority: 1

**Transform Sets**

Transform Set to Be Added:

ESP-AES-128-MD5      Add >>      ESP-AES-128-SHA      Move Up

Remove      Move Down

**Peer Settings - Optional for Dynamic Crypto Map Entries**

The Connection Type is applicable to static tunnel policies only. Uni-directional connection type policies are used for LAN-to-LAN redundancy. Tunnel policies of the 'Originate Only' connection type may specify up to 10 redundant peers.

Connection Type: bidirectional

IP Address of Peer to Be Added:

209.165.201.2      Add >>      200.200.200.200      Move Up

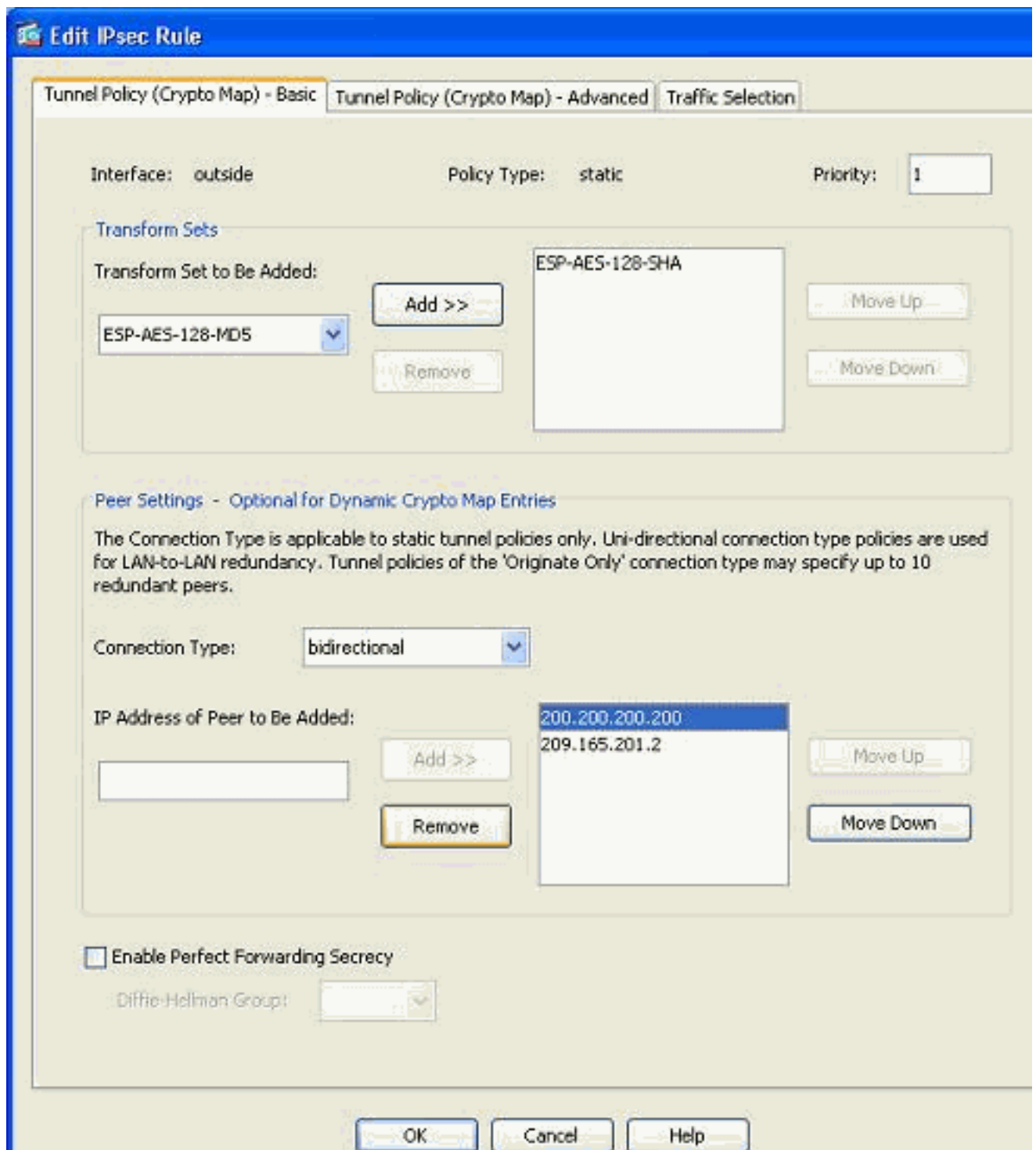
Remove      Move Down

Enable Perfect Forwarding Secrecy

Diffie-Hellman Group:     

OK      Cancel      Help

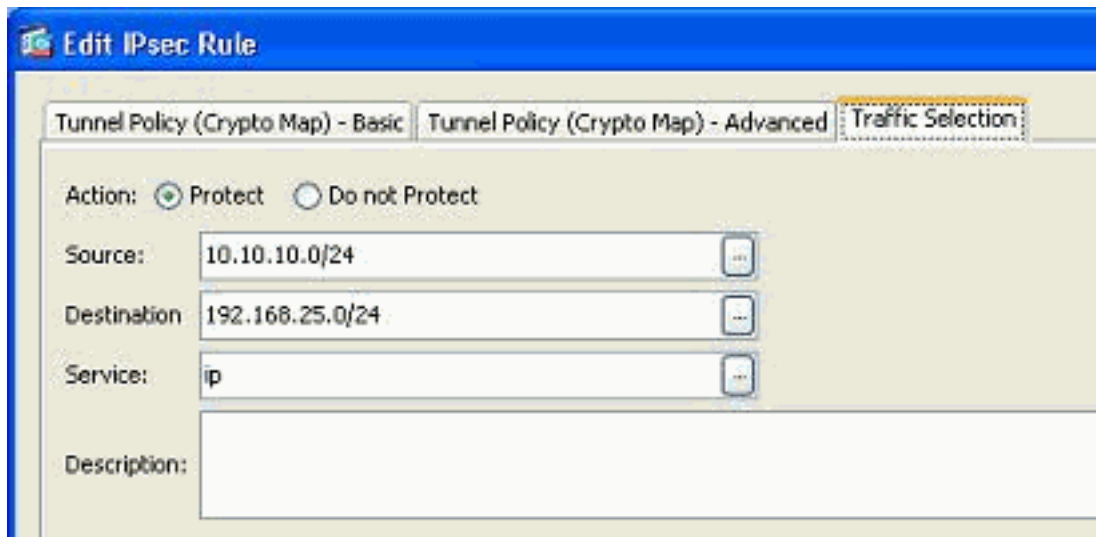
3. 既存のピア IP アドレスを選択して [Remove] をクリックし、新しいピア情報だけを残します。 [OK] をクリックします。



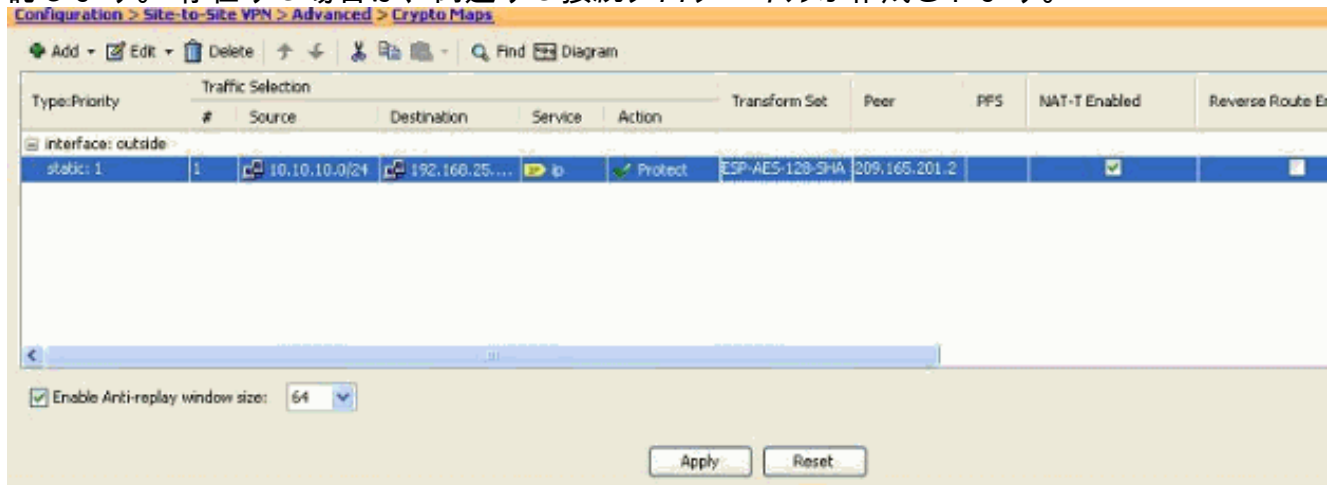
注: 現在の暗号マップ内のピア情報を変更すると、その暗号マップに関連付けられた接続プロファイルが [ASDM] ウィンドウから即座に削除されます。

4. 暗号化されたネットワークの詳細は変わりません。これらを変更するには、[Traffic Selection] タブに移動します。





5. [Configuration] > [Site-to-Site VPN] > [Advanced] > [Crypto Maps] ペインに移動して、変更した暗号マップを確認します。ただし、これらの変更は [Apply] をクリックするまで有効になりません。[Apply] をクリックしたら、[Configuration] > [Site-to-Site VPN] > [Advanced] > [Tunnel groups] メニューに移動して、関連するトンネルグループが存在するかどうかを確認します。存在する場合は、関連する接続プロファイルが作成されます。



## 確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

[Output Interpreter Tool](#) (OIT) ( [登録ユーザ専用](#) ) では、特定の **show** コマンドがサポートされています。OIT を使用して、**show** コマンド出力の解析を表示できます。

- 単一のピアに固有のセキュリティ アソシエーション パラメータを表示するには、次のコマンドを使用します。 [show crypto ipsec sa peer <Peer IP address>](#)

## トラブルシューティング

ここでは、設定に関するトラブルシューティングについて説明します。

[IKE Initiator unable to find policy: Intf test\\_ext, Src: 172.16.1.103, Dst: 10.1.4.251](#)

VPN コンセントレータから ASA に VPN を変更しようとする時、次のエラーがログメッセージ

に表示されます。

#### 解決策：

これは、移行中に不適切な設定手順を実行したためである可能性があります。新しいピアを追加する前に、インターフェイスにバインドしている暗号が削除されていることを確認します。また、トンネルグループ内でピアの名前ではなく IP アドレスが使用されていることを確認します。

## 関連情報

- [ASA とのサイト間 \( L2L \) VPN](#)
- [最も一般的な VPN の問題](#)
- [ASA テクニカル サポートページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)